

## 工事検査等における注意事項について

### ○施工体制

- ・主任技術者等通知書における建設業法に基づく資格要件イ・ロ・ハの選択は適正に。主任技術者と監理技術者とは条文が違うため、選択も異なります。資格所有者はそれを優先する。
- ・現場代理人の兼務申請書と主任技術者・現場代理人の通知書は同時に提出してください。
- ・施工体制台帳には、下請契約書（再下請以下の場合も）の写しを添付する。

### ○契約書等の履行状況

- ・着手届等は契約日の提出が望ましい。
- ・火災保険等を付す場合の保険期間は完成日の14日後とする。
- ・変更指示書や変更契約書に伴い、変更施工計画書を提出すること。

### ○施工計画書

- ・施工計画書の概要には、設計書が1式であってもできる限り数量を表示する。
- ・工事用資機材等の輸送計画は距離よりも主要道路を優先する。
- ・施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致できるように計画書を作成すること。
- ・再生資源利用計画書、実施書について、間違いが多いことから、内容を再確認する。
- ・再生資源利用計画書、実施書の生コンについて、高炉スラグ入りの場合は再生品となる。
- ・監督員と協議を行い変更契約が精算変更となる場合は、変更指示書の時点で変更施工計画書を提出する。

### ○施工管理

- ・建設業許可票の掲示は元請けだけで良い。
- ・材料の品質に影響が無いように保管している状況を写真にて確認できるようにしておく。
- ・品質証明（材料承認）の追加提出の一覧表は、追加になったものだけでなく、過去提出したものと合わせ、提出済みが分かるようにしていただきたい。

- ・細目グレーチング柵蓋は落とし込み手掛け付きのものを使用する。車道には細目グレーチングを極力使わない。側溝用嵩上げ細目グレーチングの両側の溝蓋は手掛けをグレーチング側とする。グレーチングは、検査時に持ち上げることが可能となるよう道具の用意をお願いしたい。
- ・保証書の始期は引渡し日であることから、完成日+14日とすることが望ましい。
- ・歩道の巻込部に水が溜まる現場が散見される。水たまりが生じないように詳細図を作る等施工前に確認をしていただきたい。
- ・舗装工事では、路盤面の浮石及び有害物除去の状況写真を添付してください。
- ・水道工事では、バルブは弁筐の中心に真上の方向を向けて設置する。
- ・解体工事では、地下埋設物（便槽等）の除去状況を写真で記録に残すか、監督員の立会を実施し、検査時に確認できるようにしておく。
- ・着前・完成写真を電子納品する場合、撮影した箇所ごとに着前・完成の写真を交互に配列する。
- ・電子納品の工事で検査時にパソコンが用意されていない現場があった。電子納品の場合はパソコンを用意していただくようお願いします。
- ・碎石基礎等の延長について、写真管理項目とはなっていないが、測定項目にはなっているため、忘れずに延長管理を行う。